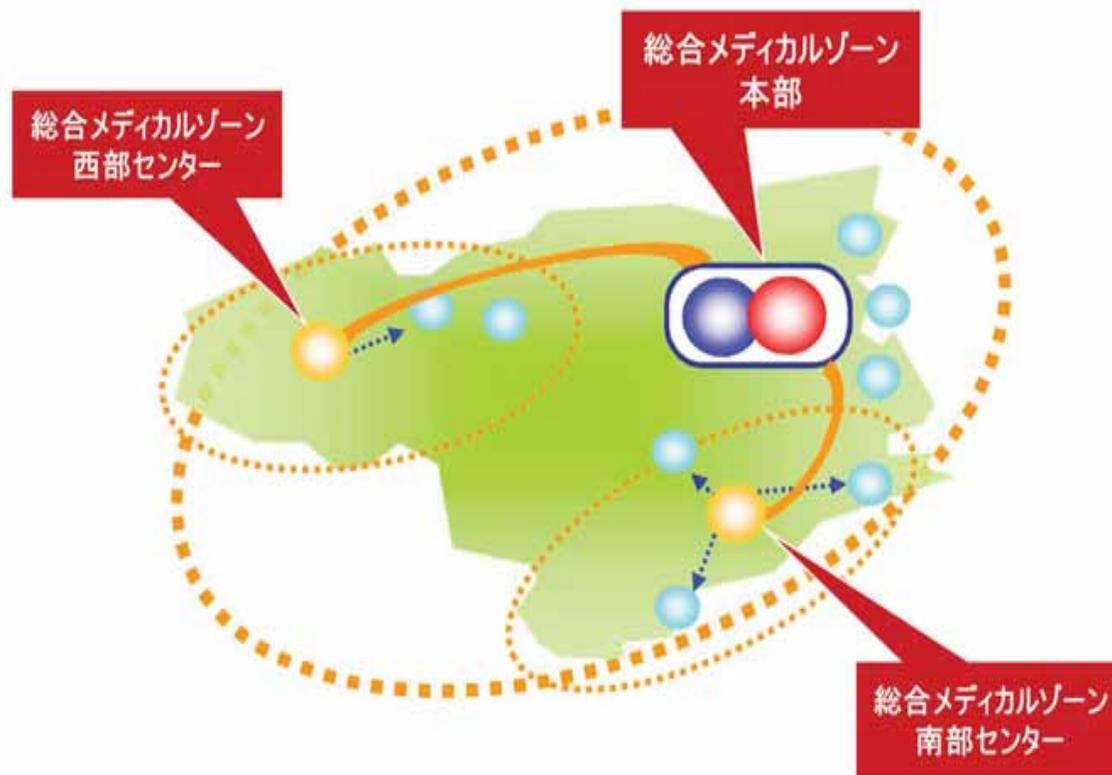


# 徳島県地域医療再生計画

(平成24年度補正予算)

【概要版】



平成25年8月  
徳島県

## 第3次徳島県地域医療再生計画の体系

### ●基本方針

最重点項目として、地域を支える医師不足の抜本的解消、質の高い在宅医療の提供体制の構築、また、南海トラフ巨大地震をはじめとする災害時における医療の確保など、喫緊の課題解決に向けた施策を展開し、第1次・2次計画との相乗効果と合わせて、「県下全域の医療の最適化」を図ることとする。

### 課題

#### 1 医療従事者の養成・確保

- ・地域医療を支える医療従事者の確保
- ・特定診療科における医師の偏在解消

#### 2 在宅医療環境の充実

- ・退院支援の推進
- ・在宅医療機関の地域偏在解消
- ・在宅医療機関と多職種との連携強化

#### 3 災害医療体制の強化

- ・災害拠点病院等の地震・津波対策
- ・多様な通信手段の確保
- ・災害時における難病患者支援

### 施策

- 1 医師の負担軽減、業務の効率化
- 2 医療従事者の増強・資質向上

- 1 多職種協働による連携拠点の充実・強化
- 2 在宅医療サービスの充実・支援
- 3 在宅医療を担う人材の育成

- 1 災害拠点病院等の機能強化
- 2 災害時の通信手段の強化
- 3 災害時における難病患者受入体制の強化
- 4 災害時歯科医療体制の推進
- 5 災害犠牲者身元確認の強化
- 6 災害時栄養管理体制の推進



## 医療従事者の養成確保(601百万円)

### 1 医師の負担軽減、業務の効率化(91百万円)

- ◇医師事務作業補助者の設置支援  
救急医療機関等への医療事務作業補助者設置による医師の負担軽減
- ◇開業医・民間医療機関等による応援診療支援  
伊島、口山、西祖谷診療所への支援を継続、上那賀病院、木屋平診療所への支援を充実
- ◇へき地医療拠点病院の機能強化  
機器整備による医療機能・研修機能の強化(上那賀病院、半田病院)

### 2 医療従事者の増強・資質向上(510百万円)

- ◇医師修学資金貸与地域特別枠の継続  
一日も早い地域の医師確保に向けた制度の柔軟化とあわせ、貸与枠を継続
- ◇徳島大学寄附講座設置  
制度を継続しつつ、成果検証・新展開の検討
- ◇徳島県地域医療支援センターの運営  
キャリア形成支援・医師配置調整機能の更なる強化
- ◇徳島県小児医療支援センターの運営  
小児救急医療拠点体制(県立中央病院)の維持等
- ◇徳島県臨床研修連絡協議会への支援強化  
更なる臨床研修医の獲得に向けた取組の実施
- ◇専門看護師・認定看護師の育成支援  
養成研修への派遣により認定看護師の倍増等を目指す
- ◇看護学生への修学資金の拡充  
平成23年度に倍増させた貸付枠を継続
- ◇看護師等養成所の専任教員養成  
県立総合看護学校教員の養成力の向上
- ◇病院内保育所の運営支援  
医療従事者の離職防止や潜在看護職員の再就業を促進するため、保育施設を運営する医療機関等に対して必要な経費を支援する。

# 目標その2:在宅医療環境の充実

子どもから高齢者まで、多様な在宅患者に対応した  
総合的な在宅ネットワークの推進！

## 「第1・2次計画」による成果

- 多機能型訪問看護ステーションの設置  
(医療依存の高い患者に対応)



- がん対策センターの設置  
(在宅がん療養患者の支援)

- 認知症疾患医療センター(基幹型)の設置  
(認知症の早期診断・専門医療相談)

- 往診歯科診療体制の整備  
(歯科診療受診困難者への支援)

- 薬剤師在宅医療連携の推進

各機能の強化・連携体制の土台づくり

## 在宅医療連携拠点モデル事業の成果

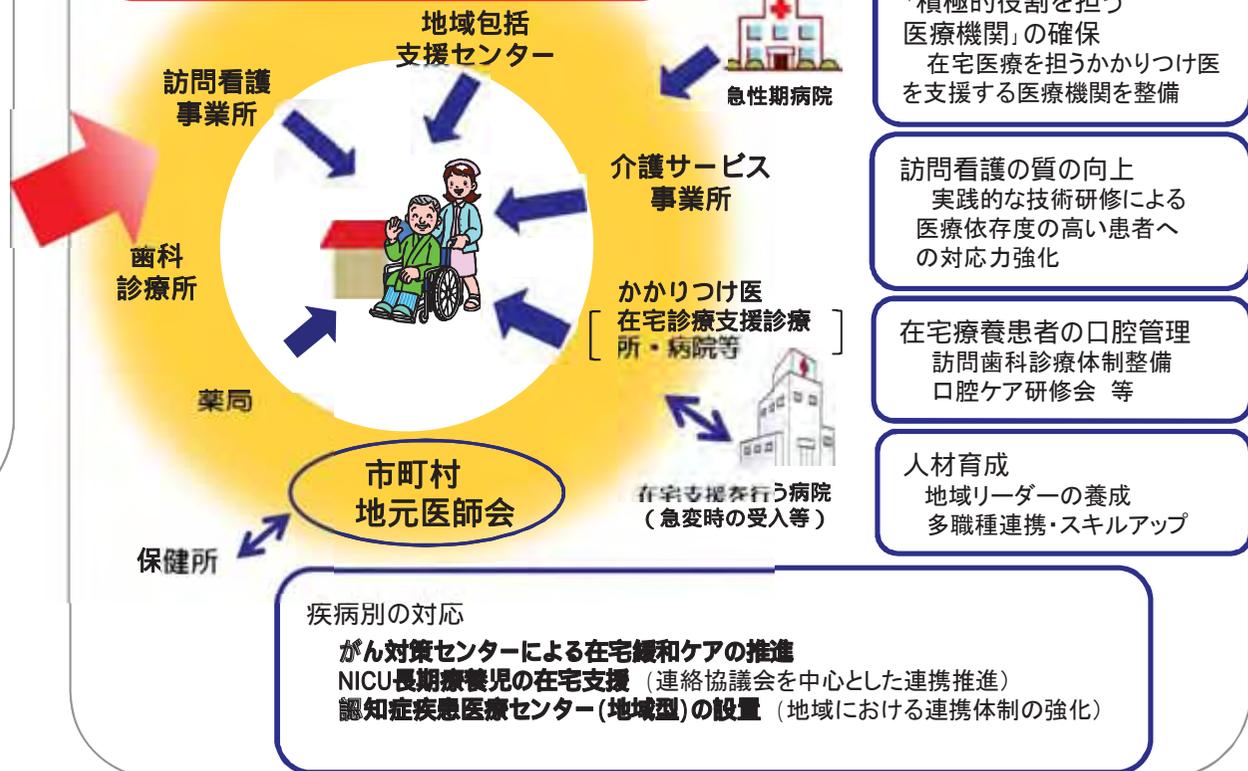
- ・地域における在宅医療の課題抽出
- ・かかりつけ医の連携による在宅診療強化
- ・後方支援病院ネットワーク化

## 「第3次計画」の策定・推進

### 在宅医療連携拠点事業

- ・在宅医療連携協議会の設置
- ・在宅医療の24時間提供体制の構築
- ・急変時対応ネットワークの整備
- ・県民への啓発・人材育成 等

- ・多職種連携による在宅医療・介護の提供体制強化
- ・様々な疾患の在宅患者における専門的な対応力の向上
- ・広域的な後方支援ネットワークの構築



## 在宅医療環境の充実(276百万円)

### 1 多職種協働による連携拠点の充実・強化(216百万円)

- ◇在宅医療ネットワーク体制の構築支援  
在宅療養者や家族の生活を支える身近な在宅医療ネットワーク構築を推進
- ◇在宅医療連携拠点事業  
地域における包括的かつ継続的な在宅医療拠点整備を推進
- ◇地域包括支援センター等在宅医療連携推進事業  
介護職員が医療知識を習得する機会を設け、職種間連携を促進

### 2 在宅医療サービスの充実・支援(47百万円)

- ◇認知症疾患医療センターの運営  
身近な地域での診断、治療体制の整備
- ◇徳島県高齢入院患者地域支援事業  
精神科病院の長期入院患者に向けた退院支援プログラムの実施
- ◇徳島がん対策センターによる在宅支援策の充実  
がん患者に対する在宅緩和ケア対策の実施
- ◇薬剤師在宅医療連携の推進  
在宅医療支援を行う薬局情報の提供、訪問薬剤師の研修実施
- ◇口腔ケア体制の充実強化  
訪問歯科診療機器の追加配置、口腔ケア研修の実施
- ◇NICU長期療養児の在宅支援事業  
在宅療養に向けて、保健・医療・福祉関係者の連携強化等

### 3 在宅医療を担う人材の育成(13百万円)

- ◇多職種協働による在宅チーム医療等を担う人材育成  
在宅チーム医療を担う「地域リーダー」の育成
- ◇看護技術強化研修事業  
在宅医療を推進する看護職員のための実践的技術研修の実施

# 目標その3: 災害医療体制の強化

## 南海トラフ巨大地震を迎え撃つ災害医療体制を整備!

### 「第1・2次計画」による成果

#### 県南沿岸部に位置する病院の津波浸水対策

- 美波町立日和佐・由岐病院の統合再編に係る施設整備  
・2病院の統合、高台移転により、医療人材も集中化(H25着手)
- 県立海部病院の災害医療センター機能の整備  
・津波浸水区域に位置する当病院を高台移転(H25着手)

全国初の  
高台移転

#### 災害時の患者搬送体制の整備

- ドクターヘリの導入・臨時離発着場の整備  
(H24.10から運航開始 半年で140回出動、  
臨時離発着場179箇所)



- 広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)の整備  
(「あすたむらんど徳島」に12床分)

#### 災害拠点病院等・地域連携の強化

- 災害拠点病院、DMAT指定病院等に必要機材や衛星携帯電話を整備
- 医療救護所への医療資機材の整備  
・市町村が設置する医療救護所へ医療資機材を整備(全市町村整備完了)
- 災害時医療コーディネーターの活動支援  
・災害拠点病院等の医師16名を委嘱の上、研修会、図上訓練等への参加を支援

～東日本大震災被災地  
支援の経験から～

災害医療・薬務・  
保健衛生・介護福祉  
コーディネーターを設置

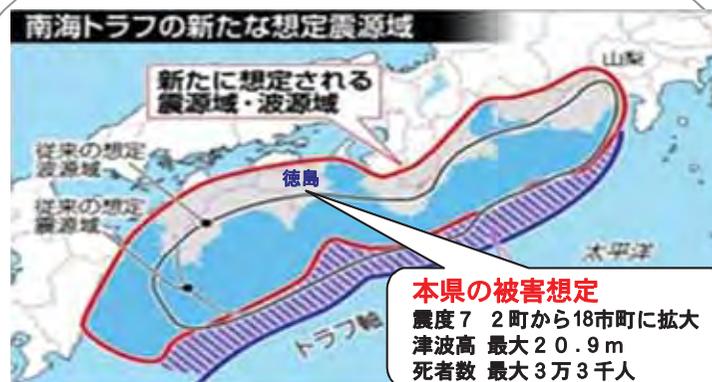
災害拠点病院をバックアップ  
する「災害医療支援病院」  
の指定

災害拠点病院を支援・補完する  
医療機関として本県独自で指定

圏域ごとの災害対策会議  
を設置し、現場の  
「顔のみえる関係」を強化



### 「第3次計画」の策定・推進



#### 新たな震度・浸水予測への対応 ～さらに安全性の高い災害拠点病院へ!～

- 災害拠点病院等の機能の強化  
・中央監視装置、非常用自家発電、燃料制御盤の移設や新設  
・移動型医療機器の導入  
・緊急ヘリポート、全天候型トリアージスペース、  
一時避難所機能の追加整備

サブSCUとして  
全国モデルへ

#### 在宅難病患者受入れ態勢の確保

- 難病医療拠点病院における人工呼吸器・自家発電装置の整備

#### 通信機能の強化

- 災害拠点病院、保健所等へのデジタル簡易無線整備

#### 災害時歯科医療体制・栄養管理体制の推進

- 被災者向け口腔管理・栄養管理研修の実施

## 災害医療体制の強化(118百万円)

- ◇災害拠点病院等の機能強化  
災害拠点病院等における自家発電装置の新設や上層階への移設、災害時緊急用ヘリポートの整備など、南海トラフ巨大地震による津波浸水対策をはじめとした災害拠点機能の更なる充実・強化を図る。  
(県立海部病院、県立三好病院、鳴門病院、徳島市民病院、徳島病院)
- ◇災害時の通信手段の強化  
災害拠点病院、保健所等へのデジタル簡易無線の整備
- ◇災害時における人工呼吸器装着難病患者受入体制の強化  
難病医療拠点病院の人工呼吸器の整備
- ◇災害時歯科医療体制の推進  
被災者の口腔管理のための研修の実施
- ◇災害犠牲者身元確認の強化  
歯科医師による身元確認作業のための機器整備
- ◇災害時栄養管理体制の推進  
避難所等における被災者の栄養管理のための研修等の実施